



宝くじ助成事業で和太鼓など整備 コミュニティ助成事業

1月16日、コミュニティの健全な発展を図ることを目的とした助成事業により、氷川町桜龍太鼓保存会が長胴太鼓やかつき、桶太鼓などを新たに整備しました。このコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として一般財団法人自治総合センターが助成決定を行なっているものです。

氷川町桜龍太鼓保存会は、地元
の伝統を引継ぎ創っていくために
設立され、地域での演奏会など積
極的に活動しており、今回の整備
で益々の活性化が期待されます。



▲新たに整備した太鼓など

心に響く 笑いと涙の人生学 氷川町文化講演会

1月29日、竜北体育センターに
おいて、氷川町文化講演会(氷川町
文化協会主催)が開催されました。

今年は、鹿児島出身の落語家
で、花形演芸大賞の金賞を受賞す
るなど全国で活躍中の三遊亭歌
之介さんを招き、「心に響く 笑いと
涙の人生学」をテーマに講演が
行なわれました。

会場には約400人ももの来場
があり、三遊亭歌之介さんのユー
モアあふれるはなしに大いに盛り
上がり、笑いの絶えない講演会と
なりました。



▲軽快なはなしに会場は笑いの渦に

若き力で選挙を啓発 明るい選挙啓発作品入賞伝達

平成28年度熊本県明るい選挙
啓発作品コンクールにおいて、竜
北中学校3年の荻萱智也さん(吉
本)が習字の部で入賞されました。

2月1日、竜北中学校校長室にお
いて氷川町選挙管理委員会の田
口英輔委員長から賞状が手渡さ
れると、「素直に嬉しいです。今年
は受験も控えているので頑張りま
す」と話されました。

作品は県内施設への展示の後、
県の選挙啓発パンフレットに掲載
される予定です。



▲入賞された荻萱智也さん(写真中央)

郷土の誇り、たすきでつなぐ 熊日都市対抗女子駅伝大会

1月22日、熊本市中央区のびふ
れす熊日会館前を発着点に、7区
間28・4キロで県内19の都市代表
が競う、第34回熊日都市対抗女子
駅伝大会が開催され、氷川町が八
代郡代表として出場しました。

当日はあいにくの雨でしたが、
選手たちは最後までたすきを懸
命につなぎました。結果は、最下位
でしたが、チーム一丸となり全区
間を走り切ったことは大きな糧に
なりました。



▲力走を見せた選手の皆さん

特産「トマト」をPR

第5回やつしろTOMATOフェスタ

1月26日、道の駅「竜北」におい
て、第5回やつしろTOMATO
フェスタが開催されました。

特設ステージ上ではイベント
キャラクター「とまピン」をはじめ
「ひかりん」と「くまモン」も会場
を盛り上げました。

また、恒例となっているトマトの
早食いも行われ、おいしいトマト
に参加者からは笑顔がこぼれてい
ました。

出店ではトマトを使った料理や
加工品が販売され、トマト一色の一
日となりました。



▲会場を盛り上げたキャラクター達



▲白熱/大玉トマトの早食い競争/



▲ダンスではピコ太郎さんも登場?

氷川町の農業を守るため 集落営農組織育成セミナー

2月9日、文化センター講堂
において、集落営農組織育成セミ
ナーが行われ、町内の農業者約30
人の参加がありました。

集落営農とは、地域ぐるみで農
作物などを共同生産し、効率化す
ることで、所得の向上を図る仕組
みであり、氷川町では、昨年に野津
南とアグリ吉野が農事組合法人
を設立しています。

講演会では、県南広域本部農業
普及・振興課の橋本晃子氏が県の
農地集積事業の取り組みや氷川
町における法人化などに向けた取
り組み状況を説明されました。

宮崎県都城市の農事組合法人
「きらり農場高木」の松原照美組
合長の講演では「集落の農地は集
落で守ろう」と題して、法人化によ
る遊休農地の解消や、農地の集積
による生産性の向上、また新規就
農を目指す若者の地域雇用の場
にもなっていることを話されまし
た。

講演終了後には参加者から熱
心な質問が行われました。



▲講演をする松原照美氏



▲熱心に聞き入る参加者のみなさん